

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和5年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月)

施設名	五日市ファインプラザ	指定管理者	シンコースポーツ・アズビル共同事業体
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで	担当課	スポーツ推進課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の遂行状況	開館日数 (日)	335	171	51.0%	
	延べ利用者数 (人)	195,000	85,487	43.8%	
	事業開催回数	必須事業 (回)	225	50	22.2%
		自主事業 (回)	1,400	406	29.0%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	102,088,880	51,044,436	50.0%
		利用料金収入(売上) (円)	23,953,300	10,312,733	43.1%
		自主事業収入 (円)	17,817,250	5,092,783	28.6%
		その他の収入 (円)	300,000	11,059	3.7%
	収入計 (円) …①		144,159,430	66,461,011	46.1%
	支出	人件費 (円)	60,044,533	33,604,777	56.0%
		維持管理経費 (円)	66,297,647	31,756,761	47.9%
		自主事業関係経費 (円)	14,228,673	3,448,410	24.2%
		その他の支出 (円)	0	0	-
	支出計 (円) …②		140,570,853	68,809,948	49.0%
	収支 (①-②) (円) …③		3,588,577	-2,348,937	-
	諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	-
総収支 (③-④) (円)		3,588,577	-2,348,937	-	

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b></p> <p>○開館日数 上半期は171日開館しました。プールについては、透明度低下のため、臨時休館を4日間(4/30～5/3)設けました。</p> <p>○利用者数 個人利用者数47,693人、団体利用者数37,794人で合計85,487人であり、年間の計画に対して43.8%の達成率となりました。前年比で127.7%と増加しています。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b></p> <p>○必須事業 週間事業としてアクアビクスを実施しております。アクアビクスについては、毎週月・土曜日、親子自由開放については、毎週火曜の午前中に実施しました。障がい児水泳教室については、毎月第2土曜日に実施しました。</p> <p>○自主事業 教室については、集客の見合わない教室の中止と、新規教室の開始を行いました。19教室を開催し、延べ3,989人参加しました。</p>	<p><b>【収支状況について】</b></p> <p>○収入 利用料収入は、年間計画に対し43.1%、自主事業収入は28.6%となりました。5月から新型コロナウイルスが5類に移行し、プール、トレーニング室、体育室の利用者数が回復してまいりました。ただし、利用制限や自主事業教室中止期間が長期に渡ったため、現在もコロナ前と比較し、7割程度の回復となっています。下半期は、周知方法を工夫し、引き続き利用者数増加を図ります。</p> <p>○支出 全体で支出計が49.0%となりました。光熱水費高騰のため、年間計画に対して支出が増加いたしました。</p>
---	--	---

所管課の評価（指摘事項）		
<p><b>【開館日数・利用者数について】</b> プールについては、設備の故障により、4日間臨時休館となりましたが、年間計画に対して、50.1%と計画通りに開館されていると評価します。 利用者数も前年度と比較して増加しており、回復傾向にあります。引き続き利用者数の年間計画の水準まで回復できるよう施策の検討及び実行に努めてください。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b> 自主事業については、各事業が計画的に再開されており、新規の教室も開始しております。利用者の増加につながるプログラムの実施に取り組んでください。</p>	<p><b>【収支状況について】</b> 収入については、前年度と比較して利用料金収入は127.7%、自主事業収入は196.4%増加しております。自主事業収入については、徐々に回復傾向にあります。年間計画の対計画比率においては、28.6%と低い数値となっております。 支出については、引き続き社会情勢の変化による影響を受けておりますが、引き続き経費削減に努めてください。</p>

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	9人 人員配置計画、実地、出勤簿	9人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や	2回/年 研修マニュアル	実施回数 2回	適正・要改善

	研修を行っている			適正・要改善	
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	60%	人員配置計画	73% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>総利用者数は、85,487人で前年66,928人に比べて127.7%となりました。5月より、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、利用者数も増加しております。トレーニング室の利用者数増加のため、トレーニング室をメインとしたチラシ配布を2回行いました。2022年度上半期では、トレーニング室の1日の利用者数平均は約52人に対して、2023年度上半期は1日平均約84人となりました。未だに新型コロナウイルス感染拡大による利用者数への影響は残っていますが、徐々に回復傾向となっております。</p> <p>収入面でも同様の理由により利用料金の計画比43.1%、自主事業収入は28.6%となりました。下半期はイベントの実施、主に自主事業収入の増加のため、教室告知の工夫や新規教室の実施などを行い、参加者数の増加を行っていきます。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>総利用者数の前年比率は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、127.7%増加しています。少しずつ利用者が戻りつつあり、利用者収入や自主事業収入が増加している点は評価できます。しかし、自主事業収入における年間計画の対計画比率においては、28.6%と低い数値となっており、課題としてあげられます。今後も引き続き、事業の周知方法を工夫するなど、誰もが気軽に参加できる事業の検討を行い、自主事業収入の増加につなげられるよう努めてください。</p>